

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	営みのための介護 I	担当者名	寺谷 真紀子
授業の概要	日常生活における援助を行うにあたり、衣生活・住生活に関する基本的な意義を理解し、生活の基盤となる家庭生活や居住環境を様々な側面から捉える視点を養うとともに、技術や知識を習得する。それにより、利用者の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、安全で適切な援助を行うことを理解する。				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 生活の営みに必要不可欠な衣生活・住生活に関する技術や知識を習得する。 自分自身の生活を見つめ直し、自ら判断して解決できる生活能力を養う。 援助者として他者の生活に関わる際の支援のあり方について理解を深める。 				
DPの観点	②専門知識・技能 ⑥幅広い教養 ⑨情報活用能力				
授業時間外学修(予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> 炊事、洗濯、掃除等、生活する上で必要な家事を1カ月間 自分で行うこと 日常生活で利用する場所(自宅、道路、公園、広場、河川、水路、学校、図書館、病院、郵便局、銀行、駅、デパート、スーパーマーケット等)を高齢者・障がい者・子育て期の視点から観察すること 				
フィードバックの方法	課題提出物の添削				
単位認定の要件	期末試験において一定基準を満たすこと、レポート提出状況及び授業状況により総合的に評価する				
評価の方法・割合(%)	期末試験 60%、授業内提出物 30%、授業内活動 10%				
履修上の注意事項	特になし				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			家庭生活の営みと居住環境	⑥	学生の口頭による確認
2			被服の役割と機能、体温調節や皮膚の衛生との関わり	⑥	学生の口頭による確認
3			被服の性能と着心地、着方の工夫	⑥	レポート提出
4			布の種類と構造、被服の素材と繊維の種類と特徴	⑥	学生の口頭による確認
5			繊維の種類と特徴	⑥	レポート提出
6			被服の選択と品質表示	⑥	学生の口頭による確認
7			被服の管理(素材・洗濯・保管等)	⑥	学生の口頭による確認
8			高齢者・障がい者の被服(体型・機能との関係)	②	学生の口頭による確認
9			住まいの役割と住生活	⑥	学生の口頭による確認
10			高齢期の住まいと住宅政策	⑥	レポート提出
11			住まいの形態と分類、施設空間と住まい	⑥	学生の口頭による確認
12			生活空間と室内環境、住宅の安全と管理	⑥	学生の口頭による確認
13			安全な地域生活と支援	⑥	学生の口頭による確認
14			住宅・住環境とバリアフリー・住宅改修	②	レポート提出
15			まとめ	⑨	学生の口頭による確認
期末試験					

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座 6 生活支援技術 I ・ 7 生活支援技術 II (介護福祉士養成講座編集委員会＝編集)中央法規
参考文献 参考URL	高齢者・障害者の被服 (一橋出版) 他
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働性⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--